

第 1 回

島田市まち・ひと・しごと創生市民会議

平成28年5月23日

議事録

平成 28 年度 第 1 回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議 議事録

会議体の名称	平成 28 年度 第 1 回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議	
事務局 (担当課)	島田市市長戦略部戦略推進課	
開催日時	平成 28 年 5 月 23 日 (月) 10:00~12:00	
開催場所	島田市役所 4 階第 3 委員会室	
議題	(1) これまでの経過 (2) 人口動態 (平成 27 年 1 月~12 月) (3) 平成 28 年度島田市の地方創生に向けた取組について (4) 平成 28 年度島田市まち・ひと・しごと創生市民会議について (5) 島田市産業支援センター「おびサポ」の状況について	
出席者	創生市民会議 構成員	・島田市自治会連合会 大石会長 ・島田青年会議所 齋藤専務理事 ・お母さん業界新聞 静岡版 杉本編集長 ・島田市小中学校 P T A 連絡協議会 横田川会長 (欠席) ・N P O クロスメディア島田 大石理事長 ・島田商工会議所 原田会頭 ・島田市商工会 大塚会長 ・島田観光協会 大久保会長 ・島田市農業経営振興会 渡邊部会長 ・静岡県立島田商業高等学校 西川副校長 (代理出席) ・島田市校長会 服部・金谷小学校長 ・島田信用金庫 三浦経営サポート部長 (代理出席) ・島田・榛北地区労働者福祉協議会 白方事務局次長 (代理出席) ・島田公共職業安定所 中村所長 ・島田市 染谷市長
	オブザーバー	静岡県中部地域政策局 掛澤局長
	事務局	島田市市長戦略部戦略推進課 田中課長
	市関係者	・高木副市長 ・濱田教育長 ・牛尾理事 ・鈴木市長戦略部長

配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議構成員 ● 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議席次表 ● 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議設置要綱 ● (資料 1) 「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略の策定経過 ● (資料 2) 人口動態 (平成 27 年 1 月~12 月) ● (資料 3) 平成 28 年度島田市の地方創生に向けた取組について ● (資料 4) 平成 28 年度島田市まち・ひと・しごと創生市民会議について ● (資料 5) 島田市産業支援センター「おびサポ」の近況
------	--

【議事録】

<開会の挨拶>

○市長戦略部長 皆様、御多用の所、御出席を賜り、誠にありがとうございます。本日の司会をさせていただきます島田市市長戦略部長の鈴木と申します。よろしく願いいたします。それでは、定刻となりましたので、ただ今から、「平成 28 年度第 1 回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」を開催させていただきます。それでは、はじめに染谷絹代島田市市長から、ごあいさつを申し上げます。染谷市長よろしく申し上げます。

○染谷市長 本日はご多用の中、平成 28 年度第 1 回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この市民会議は、地方創生に向けて官民が一体となり、島田市の特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生するため、昨年 5 月に設置し、皆様からのご意見をいただきながら昨年 10 月、「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定いたしました。

この中で、2060 年の人口の目標を 8 万人とし、今後 5 年間の主な施策等を定め、策定後はこの「人口ビジョン」及び「総合戦略」を基にして、地方創生に向けた取組を本格的にスタートさせたところであります。

特に、本年度は、国の地方創生加速化交付金を活用し、「島田市緑茶化計画事業」を展開してまいります。この事業は、お茶をキーワードに、官民協働で様々な事業展開を進めていくもので、具体的には新東名島田金谷インターチェンジ周辺の「賑わい交流拠点」形成のための基本計画の策定や、緑茶化商品の開発、ブランドロゴデザインの海外商標登録など、緑茶化計画を「稼ぐ仕組み」へとしていくものであります。

また、総合戦略の評価、検証を行い、必要に応じて改訂するという一連のサイクル（PDCA サイクル）を行政だけでなく、市民会議の皆様からのご意見もいただきながら実施し、総合戦略の実効性を高めていきたいと考えております。

本日の会議では、昨年 1 年間の人口動態の報告や、先ほどの「島田市緑茶化計画事業」も含め、地方創生に向けた今年度の取組等についてご議論いただき、会議の後半には、先日開所したばかりの「島田市産業支援センター」の鈴木センター長より、この 1 か月間の相談内容等についてご報告いただく予定となっております。

限られた時間ではございますが、皆様から忌憚のないご意見をいただきたいと思っておりますので、どうぞお力添えを賜りますようお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

本日はよろしく願いいたします。

○市長戦略部長 （会議出席者自己紹介）
議長を染谷市長にお願いしたい。

<議事（報告事項）（1）～（3）>

○染谷市長 依頼のあった議長を務めさせていただきます。

それでは、報告事項（1）「これまでの経過」について、事務局から説明お

願います。

- 事務局 **資料1**の説明
島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略策定までの経過、総合戦略に基づく、平成27年度実施事業について報告する。
- 染谷市長
ただいまの説明について、質疑、御意見等はありませんか。

【質疑・意見なし】
- 染谷市長
続いて(2)島田市における「まち・ひと・しごと創生」の取組について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 **資料2**の説明
平成22年と平成27年国勢調査人口(速報値)、推計値の比較
島田市人口動態(平成27年1月～12月)
- 染谷市長
ただいまの説明について、質疑、御意見等はありませんか。
- I 構成員
転入、転出の理由を教えてください。
- 事務局
申し訳ありませんが、転入、転出の理由は把握しておりません。六合地区、初倉地区が転出者よりも転入者が多い理由は、宅地造成が進んでいることが考えられます。逆に、郊外については農業振興地域が多く宅地となる部分が少ないため転入が増えない理由かと考えます。また街中の減少については、区画整理事業に伴う、郊外、市外への転出の影響と考えられますが、調査を行っているわけではありませんので、考えられる理由を回答させていただきました。
- I 構成員
島田市へ転入してこられた方は、島田市に魅力を感じて転入されてきた方であると思いますので、どんな理由かを調査することは必要であると思います。
- F 構成員
牧之原市、御前崎市などの沿岸部からの転入の増加は、東日本大震災の津波の影響が考えられると思います。
- 事務局
F 構成員がおっしゃられたとおり、島田市への転入者が多い市町名を見るとそのような理由が考えられると思います。
- 染谷市長
転入、転出の理由は、今後も必要になってくると思いますので、アンケートをとるようにしたほうがいいと思います。事務局は調整をお願いします。
- 染谷市長
2006年(平成18年)以降、200人台前後で推移していた社会増減(転出超過状態)が2014年(平成26年)、2015年(平成27年)と急激に減少しているが、どのような理由が考えられるか。
- N 構成員
1998年(平成10年)の社会増減の差引が-466人となっていますが、この

年は金融自由化政策があり、企業が苦しくなった年でありました。また、2011年（平成23年）は東日本大震災、2012年から2013年にかけては円高等の問題がおきています。その後、2014年（平成25年）7月位から県内経済は回復し、生産と供給が必要になってきたため、大幅に社会減が減ってきたと考えられます。

- L 構成員 移住定住促進に係る「島田市に住もう応援奨励金」について、当初は一戸建てへの移住のみが対象であると認識しているが、市内にマンション建設が進んでいる中で、一戸建てだけでなく、マンション等への移住についても対象にする話も伺ったが、現在はどうか。
- 牛尾理事 ご指摘いただいたとおり、当初は一戸建てへの移住のみを対象としていましたが、市内へのマンション建設が進んでいたため、実態に即した形に補助制度を見直し、利用しやすいように改正していく方向で検討を始めるよう指示はしてありますが、現在の状況については確認いたします。
（補足）
要綱改正を行い、平成28年4月1日より、「マンション」を追加しました。
- 染谷市長 ちなみに、島田市は伊豆市について、持ち家率が高い市であり、一戸建ての所有率が高い地域と思われれます。
- A 構成員 県内人口移動の状況について、島田市から藤枝市への転出が多くなっていますが、原因等について分析をしていただきたいと思います。
- 染谷市長 事務局は次の市民会議までに調査、分析をし、報告をお願いします。
- 染谷市長 その他に質疑、御意見等はありませんか。
- 染谷市長 続いて、（3）平成28年度島田市の地方創生に向けた取組について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 資料3の説明
平成28年度島田市の地方創生関連主要事業について
地方創生加速化交付金「島田市緑茶化計画事業」について
地方創生推進交付金について
- 染谷市長 ただいまの説明について、質疑、御意見等はありませんか。
- 染谷市長 続いて、（3）平成28年度島田市の地方創生に向けた取組について、事務局から説明をお願いします。
- 染谷市長 ただいまの説明について、質疑、御意見等はありませんか。
私から補足説明ですが、「蓬莱橋お休み処整備事業」250万円とありますが、これは計画策定にかかる予算であり、実際の整備事業予算については、今年度の補正予算で対応する予定としています。

○G 構成員 島田市まち・ひと・しごと総合戦略の中の主な施策「豊かな心をもった子どもを育成する」とありますが、これは、幼児期からこのような教育環境を作っていく、10年後、20年後に社会貢献ができる子どもたちを一人でも多く育てていくというのであれば、ここに記載されている「教育用コンピュータ整備経費」というのは、違う面での経費ではないのかと思います。豊かな心をもった子どもを育成するというのであれば、もっと子どもの育成について予算をかけていただき、特に体験型、参加型の教育を全ての子どもが受けることができるような体制を整えていただけたらと思います。このような取組は教育委員会だけでなく、各団体が取り組んでいるところではありませんが、このような取組の情報をひとつにまとめ、外部へ広く発信していくことで「子育てしやすいまち島田」の周知につながっていくと思います。ここに書かれている「夢育・知育推進事業」や「外国人等英語指導経費」の内容について教えて下さい。

○教育長 まず、いろいろな面でご理解いただきましてありがとうございます。「体験」は、子どもたちの心を育てる意味では非常に大切であると考えています。初倉の放課後子ども教室、伊久美のサマースクールなど、子どもたちがいろいろな体験をできるメニューを実施しています。また、教育委員会が直接関わるものだけでなく、市子連や各学校において地域の方の協力を得ながら体験型の事業を行っているところであります。それから、今年度から「夢育・知育推進事業」がはじまります。これは地域人材、地域資源を活用しての体験を重視していく施策となります。それ以外にも「ありがとう作文」のように子どもたちが人の役にたったと実感できるような事業も推進しています。また外国人のALTの活用については、子どもの可能性を伸ばす、学力をつけることによって可能性を広げ、可能性を広げることが夢につながり、それが子どもの豊かな成長につながる形を考えています。先ほどのコンピューターのお話がありましたが、これも子供たちの可能性を広げるといった意味で豊かな心をもった子どもの育成につながると考えています。これからも地域の皆様の協力を得ながら様々な体験型のメニューを考えていきたいと思っておりますので御協力をお願いいたします。総合教育会議の中でも「市民総ぐるみの教育」というものを掲げていますので、この部分でも皆様の御協力をいただくことがあろうかと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

○染谷市長 私からも補足させていただきます。島田市総合教育会議では、「幼児教育の重要性」について、ものすごく議論されています。島田市の子育て支援の大きな特徴は「親を育てる」ことで、豊かな子どもを育てる部分であると思っています。この部分をしっかり取り組んでいかないと豊かな心をもった子どもは育たないと考えています。現在、島田市では、生後間もなくの赤ちゃんをもったお母さんへの講座から始まり、様々な講座、事業を展開していますが、今後もさらに充実させていかなければと考えています。このような目に見えない部分にお金をかけていくことが、これからの島田を変えていくことだと思っておりますので、しっかり教育に力を入れていきたいと思っております。

○I 構成員 現在、子ども一人を東京圏の大学に行かせるためには約 1000 万かかるとい

われており、経済的に難しい家庭も多いかと思えます。そこで、具体的な形は全く見えていませんが、地元にながら同程度の教育（人格形成）を安価に受けることができる施設、仕組みが必要であると思えます。

○F 構成員 農業従事者が減少していく中で、新たに農業に参画していく人を育てなければならぬと考えた時に、耕作放棄地を利用した子どもへの教育が必要であると思えます。子どもたちが農業を体験でき、その中から、農業に参画していくような子どもたちを育てていくことが必要であると思えます。現在、私たちの団体でも幼稚園と連携しながらテスト的に実施していますが、農作物を育てて、収穫して、食べてもらうといった「食」とつなげた形で農業の楽しさを学ぶ機会を作っていくことと同時に耕作放棄地を活用できたらと思えます。

○染谷市長 市でも耕作放棄地の問題、活用には全力で取り組んでおりますが、そこに教育、子どもたちを絡ませていくことについては、現時点では、十分ではありませんので、一つ大きな示唆を与えていただいたと思えます。ありがとうございます。

○濱田教育長 市内の小中学校でも稲作体験などの体験型の授業は取り入れているのですが、授業の時間数の関係で常時関わることができないということが課題となっています。農作物を植える、収穫する、食べる、活用するということは行っているのですが、その間の世話ができない、本来はその部分が重要であると思えますが、限られた時間の中では難しいというのが現状です。今後はこの部分をどのように工夫していくかが重要であると考えております。

○染谷市長 先ほどのF構成員の御提案は大学誘致とまではいなくても、高校を卒業してからの高等教育を地元にながら受けられる仕組みをとった内容であったかと思えます。今、日本全体の人口が縮小する中で、文科省も新しい大学の認可をほとんど出さなくなってきたとおり、私立大学の中にはつぶれていく大学もある中で、それに見合った効果、例えば定住人口が増加するといったことが見込めないと難しい状況にあると考えています。実際に藤枝、焼津には大学があるのですが、ほとんどが近隣の市町からの通学であり、定住人口の増加にはつながっていないのが現状です。ですから、この御提案は島田市の課題の一つとして捉え、今後も皆様とディスカッションしていきたいと思えます。

< 議事（協議事項） >

○染谷市長 それでは、協議事項（1）「平成 28 年度島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 資料 4の説明
平成 28 年度島田市まち・ひと・しごと創生市民会議について

○染谷市長 ただいまの説明について、質疑、御意見等はございませんか。

○染谷市長 続きまして、島田市産業支援センター鈴木センター長から、「島田市産業支援センターの「おびサポ」の状況について」報告いただきたいと思います。島田市産業支援センターは、本年度、市と島田商工会議所、島田市商工会、島田信用金庫の4者が連携し、人と人、人と企業、企業と企業との交流を促進させ、地域産業の活性化を図るために設置した施設であり、4月12日に開所いたしました。開所から約1か月の相談状況、内容などについての現状を皆様と共有したく、お願いしたものです。それでは、鈴木センター長、よろしくお願いします。

○鈴木センター長 **資料5**の説明

島田市産業支援センター「おびサポ」の状況について
おびサポのキーワードは「訪れた人の笑顔」です。
おびサポは、市と島田商工会議所、島田市商工会、島田信用金庫の4者が連携し、中小企業や企業や創業を考えている方のための相談業務を柱としながら、セミナーや交流会などを開催し、人と人、人と企業、企業と企業との交流を促進させ、地域産業の活性化を図るために設置した施設です。さらに、静岡県よろず支援拠点と連携し、支援体制の強化を図っています。おびサポのマークは帯まつり、千代結びを表し、緑茶化計画の色を使用しています。人は節目、節目にいい出会いがあると言われていますが、この産業支援センターも「人と人との出会いを結ぶ」そういった機関にしていきたいと考えています。
開所から4月末までの相談件数は158者、186件で、主な内訳は、販路拡大が42件、経営相談36件、起業、創業が24件となっております。また、相談後のアンケート結果からは、「非常に良かった」、「また利用したい」との声が多く占めています。
4月26日には初めてのセミナーとして「売れるチラシの作り方」を開催し、多くの方に参加していただきました。また、このセミナーをきっかけに個別相談につながったケースもあり、今後もこのような機会を多く作っていききたいと考えています。
今年度1年間の相談件数の目標を1,200件としており、5月の相談件数が21日（土）までで92件となっておりますので、現時点では達成できそうなペースで推移しています。
今後も、6月1日の「産業支援のための補助金及び支援制度説明会」をはじめ、7月にかけてセミナーの開催を予定しています。また、創業セミナーを8月から9月にかけて4回で予定しています。相談者とのコミュニケーションを大切に、同じ目線での個別支援を重視し、経営全般に関する相談やサポートを「オール島田」で取り組んでいきます。

○染谷市長 ただいまの説明について、質疑、御意見等はございませんか。このような会議にご出席いただき、一言も御発言なさらずにお帰りいただくことは非常に残念ですので、本日まで御意見をいただいている構成員の方から一言ずつ御意見をいただきたいと思っております。

○B 構成員 この総合戦略の目的は人口減少社会への適応、克服や、地域経済の発展ということで、私たち団体に関わってくる部分は、「島田市に住み、好きになる」という部分であり、また、この部分に重きをおいて活動していますので、ぜひ、官民連携という中で、協力させていただきたいと思います。実際に 30 歳の同窓会への協力、連携や、今後は若者の「主権者教育」にも力を入れていきたいと考えております。

○C 構成員 総合戦略の中の子育ての分野に多くの予算が計上されていることは非常にうれしく思いました。自分自身は子どもに色々な経験をさせてあげたいと考えており、他のお母さんもそのように思っていますが、何らかの理由でできない人たちもいます。この「何らかの理由」を共有して、できるように対応していけたらと思いました。また、先ほど幼稚園の農業体験の話がありましたが、色々な方が色々な活動をしていただいているのに、情報を得ることができないので、そのような情報が一つにまとめられ、発信していただけるといいと思います。また、今日の会議ももう少しざっくばらんに発言できる雰囲気にしていただければと思います。もう一点、「企業内子育て環境アップ事業」の実績が 0 件となっており、理由、課題等が記載されていますが、今後は事業主への子育て支援に対する理解を促す取組等の「企業育て」が必要であると思いました。

○E 構成員 総合戦略という一つの傘の下での事業、取組を説明していただきましたが、それぞれの事業の「横の連携」が必要であると感じました。昨年度、出会いの力創造事業がありましたが、あの事業は単に、出会いの場を創るだけでなく、市内の事業者の方に講師になっていただき、最終的にはそのお店で買っていただくといった商業活性というところまでつなげていったということでもありますので、そのような視点をもって取り組むことが大事かと思えます。6 月に市民活動室で講座を開かせていただきますが、現在、行政では地方創生という旗のもとで色々な事業を実施していただけていますが、その事業の間を埋めていくのが NPO の役割であると考えていることと同時に、NPO 自身がその責任を果たすことができるように取り組んでいかなければならないと考えています。今回の講座の中では「パラレルキャリア」を題材にしています。これは、ひとりひとりが「もう一つの顔」を持つことで新たな仲間ができたり、活動の達成感など、生活の幸福度につながっていくことを市民の方に知っていただきたく開催するものです。また 8 月には「学習指導要領の視点から考える子どもの生きる力と地域のカンケイ」という講座を開催いたします。学んだことをどう生かしていくかを考えた時に、地域とのカンケイや、NPO が持っている役割とどのようにつながっていくかが今後重要になっていくと思えます。

○H 構成員 本日は、島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の内容について、御説明いただいたわけですが、ここから実行に移していくことが本当に大変であると思えますので、市民の皆さんに危機感をもっていただき、この計画の実行にできるだけ多くの人に参加してもらおうような働きかけが必要であると思えます。我々の団体もこの総合戦略に沿った形で活動をしていかなければならないと感じています。藤枝市ではソフトバンクと協定を結び、街中にロボットを浸透させていく取組を始めたと聞いていますが、島田においても、このような取組を始める場合には、私たちも協力させていただきたいと思っていますので、官民協働、連携して町おこ

しに取り組んでいきたいと思ひます。

○J構成員 島田市内の高校の魅力を市内外に強く発信していくことが、島田市の活性化につながっていくということをひしひしと感じました。小中学校だけでなく、地域へも発信していく機会を作っていけたらと思ひています。

○K構成員 本日は学校教育について、多くの御意見をいただきありがとうございます。子どもたちには「どんなものを見せていくのか」ということを考えながら取り組んでいかなければならないと思ひています。子どもたちの「心が育った」ということは、なかなか見えない、伝わりづらな部分もありますが、「こんな良さがあつた」ということをロコミで発信していきたいと思ひています。

○M構成員 私はこの4月に島田市へ赴任してきました。生まれは浜松市で、その後、色々な支店を回り、今回、大井川を初めて渡りました。この地に来て感じたことは、この島田市は皆さんが思っているより「住みやすいまち」ということです。天竜川と比較しても公園が整備されていること、その公園で平日、休日問わず、グラウンドゴルフやキャッチボールをする姿が見られ、教育にも非常にいい環境であると思ひました。引越し作業をしても子どもさんたちが挨拶をしてくれ、横のつながりが強いまちだと感じました。先ほどもお話がありましたが、島田市には大学を卒業後、戻ってくる場所、働く場所がない、特に理系の大学を卒業した人が県内に戻ってくる場所がないと思ひます。ですから、研究所のような分野等、特色をもつた誘致を進めていくことで、学生が帰って来やすい環境を作っていくこと、定住者を増やしていくような取組が必要であると思ひます。さらに移住・定住者への補助金等の制度もリンクさせながら、1人でも多くの人が定住してくれるような取組に参画させていただけたらと思ひます。

○N構成員 私も2年目で、浜松市から来ているのですが、本当に島田市は住みやすく、人がいいまちです。基本的に人口を増やしていかなければならない中で、「教育」とリンクする部分が非常に多いと思ひっていますが、先ほどの「企業内子育て環境アップ事業」の実績が0件というところにもつながり、事業主の理解を図り、「働き方改革」を推進し、ワークライフバランスを進めていかなければ、いくら親子で体験型の授業を用意しても、時間が取れないということになってしまい、島田市の良さが薄れていってしまう気がします。基本は、島田市で生まれ育つた方を戻すようにしないと、人口の増加は難しいと思ひます。他の地域との「分捕り合戦」ではなく、島田で生まれ育つた方が、給料が少しくらい安くても島田へ戻ってくる土壌を作っていかなないと、この地方創生の取組で人口を増やしていくことは難しいと思ひています。

オブザーバー 島田市産業支援センターについて、気軽に立ち寄れる環境、オフ会等を作っただけ、起業、創業をしたい方々を結びつけるような取組をやり続けていってほしいと思ひます。すぐに成果につながることはばかりではないかと思ひますが、やり続けることが大事ですので、今後ともよろしくお願ひいたします。

○染谷市長 ありがとうございました。時間を超過してしまいましたことお詫び申し上げます。皆様のご協力により、本日の議事につきましては、無事終了いたしました。それでは、会議の進行を事務局へ戻します。

○市長戦略部長 ありがとうございました。以上をもちまして、予定をしておりました議事はすべて終了いたしました。次回、市民会議は 10 月を予定しておりますが、日程が決まり次第、早めにご連絡をさせていただきます。本日は、御多用の中、御出席いただきまして、ありがとうございました。それでは、以上をもちまして「平成 28 年度第 1 回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」を閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。

以上